

道の駅

なんぶ

中部横断自動車道南部ICと国道52号に隣接。特産物販売所のほか、レストラン、南部氏展示室、観光情報室を設置。さらにキッズルーム、授乳室、パウダールーム、そして愛犬連れドライブでありがたいドッグランも。



南部町は、山梨県の南端、静岡県との県境に位置する、人口約8,000人の小さな町です。

気候は、県内でも代表的な温暖多雨地帯で、町の面積の約87%を占める豊富な森林に囲まれていることから、その気候と立地条件を生かし、古くから良質なお茶と竹の子が、特産品として出荷されています。

また、本町は、歴史と文化の町としても有名で、東北で活躍した南部氏発祥の地ということから、町の名前が「南部町」となっており、江戸時代から伝わる地歌舞



伎「内船歌舞伎」が有名で、定期公演には、東京や関西などから、多くの歌舞伎ファンが訪れています。その背景の一つには、やはり、東名高速道路の富士川楽座SAのスマートIC化や、新東名高速道路の開通により、都会からのアクセスが容易になったことが考えられます。

この新東名・新清水JCTから中部横断自動車道を北上して山梨に入ると、この道の駅「なんぶ」があります。長野県側からのルートでは、中央自動車道から中部横断自動車道・下部温泉早川ICを降りて、国道52号線を南下することになります。

この道の駅「なんぶ」は、中部横断自動車道の南部ICにも隣接し、2021年夏には全線開通となり、多くの集客が望めます。そのことも見据えた中で、県内で21番目の道の駅として、平成30年7月21日にオープンしました。

面積は16,500㎡で、大型車24台、普通車81台、障害者用3台の駐車場、大小45器の公衆トイレ、旅の疲れをいやせる施

設としての「キッズルーム」や「多目的室」を備えた「交流促進施設」、そして、地域の活性化を図る拠点施設としての「特産物販売所」や「レストラン」を備えた「地域振興施設」、この2つの施設の間には、青空に浮かぶ白い雲をイメージしたドーム型の屋根を設置し広い「多目的広場」を設けました。

また、南部氏発祥の地を紹介するための「南部氏展示室」や、町の観光情報やイベント情報などを紹介する「観光情報室」も3年という歳月をかけて内容を充実いたしました。さらに、南部氏初代、南部三郎光行公の騎馬像も駐車場に設置しました。

そのほか、東海地震などの大規模災害時用の資機材を保管する防災棟を整備したこと、この道の駅の大きな特徴となります。また、日中の晴れた日には、のんびりと休める芝生広場やドッグランも完備し、海と山を結ぶ県境の「道の駅」として、多くの観光客やドライバーの憩いの場として、ご利用いただければありがたいと思います。

2021年夏 いよいよ全線開通へ 中部横断自動車道

下部温泉早川IC ~ 身延山IC ~ 南部IC

- ① 物流・移動がスマートに!
- ② 特産品を清水港から海外へ!
- ③ 国内外から峡南にようこそ!
- ④ 災害時の国道代替道路に!
- ⑤ 企業誘致で地域が元気に!



中部横断の富士川大橋 (6月)



下八木沢トンネルと帯金トンネル間の帯金切土 (6月)



資料提供：国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所